

# わかばの杜・東海 放課後等デイサービス自己評価表

作成日：平成 31 年 2 月 28 日

記入者：玉越理絵

検討者(参加者)：玉越理絵・中川義明・佐源太雅恵・井本亮  
糠谷彩華・井上麻美・佐藤由美子

	チェック項目	5	4	3	2	1	改善の必要	改善目標、工夫している点など
		はい	どちらかとい うとはい	どちらとも いえな	どちらかとい うといえ	いいえ		
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	3	2	1	要 不要	構造化を随時行い、効率よくスペースを使えるように配慮している。随時、より児童が活動しやすいよう検討していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	4	3	2	1	要 不要	基準以上の配置はしているがより密な支援を考慮すると不明。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	3	2	1	要 不要	身体障がい利用者はいないが段差は無いよう構造している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	4	3	2	1	要 不要	PDCAサイクルを職員全体で意識するようにし、ミーティングを密に行うようにしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 不要	保護者さまからのご意見は集計し、改善できる部分から取り組みを行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4	3	2	1	要 不要	ホームページ上にて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 不要	第三者評価は行ってない。今後の検討課題である。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	4	3	2	1	要 不要	外部講師を呼び、勉強会を開催している。また、外部で行われる研修にも参加できるよう業務の調整等を行っている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	3	2	1	要 不要	現在、保護者・本人のニーズや課題の分析を行い、計画書を作成しているが十分とは言えない。面談等を通してより多くの情報を共有し作成していく。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	3	2	1	要 不要	統一した書面を使用している。使用しやすいツールにするため、検討は随時必要。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	4	3	2	1	要 不要	個別支援会議や毎日のミーティングにて検討を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4	3	2	1	要 不要	全指導員が活動に対し意見を言い、マンネリ化しないように心掛けている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	4	3	2	1	要 不要	長期休暇でしかできない活動を取り入れるよう心掛けている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	3	2	1	要 不要	それぞれに合わせた個別・集団活動を組み込むよう心掛けている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4	3	2	1	要 不要	必ずミーティングを行い、活動内容や注意事項の共有、役割分担を確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	3	2	1	要 不要	支援終了後も必ずミーティングを行い、当日の支援について振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	4	3	2	1	要 不要	日々の日報、支援記録を記載し、常に目を通せるようにしている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	3	2	1	要 不要	少なくとも半年に1回は行っているが十分ではない。より細かくモニタリングの必要あり。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	4	3	2	1	要 不要	季節に応じた行事や製作活動を積極的に取り入れている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4	3	2	1	要・不要	担当者会議の開催時には支援・把握の出来ている者を参加するように調整している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	学校によっては書面でやり取りを行い送迎時にトラブルが発生しないよう心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	/	/	/
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	3	2	1	要・不要	相談員を経由し、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4	3	2	1	要・不要	卒業生が少ないこともあり行っていない。今後、卒業生が出た際には密に情報共有していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	3	2	1	要・不要	連携ができておらず助言や研修は受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	2	1	要・不要	定期的に児童館へ外出を行い、同じ空間で活動している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	4	3	2	1	要・不要	市役所からの会議等には積極的に参加するようにしている。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	4	3	2	1	要・不要	送迎時には話しているがゆっくりと話す時間は無く不十分。面談等の機会を増やせるよう、業務を見直している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	面談時にはお伝えするように心がけているが不十分。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	契約時に不明な点が生じないように説明を行うように心掛けている。また、質問があった際にはお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	3	2	1	要・不要	相談の機会が少ないのでまずはなんでも話せる環境作りに心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	3	2	1	要・不要	保護者参加の機会がほとんどないので今年度中に開催できるよう検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	3	2	1	要・不要	迅速に対応できるように心掛けているがまだ適切かどうかは不明。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4	3	2	1	要・不要	翌月の予定は毎月発行している。連絡事項がある際も書面にて配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	4	3	2	1	要・不要	第三者に個人情報が漏れないよう留意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	4	3	2	1	要・不要	絵カードや身振り等、理解しやすい方法を用いるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	3	2	1	要・不要	過去に実施したことは無い。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	3	2	1	要	不要	各種マニュアルを配布している。無いものについては今後作成し、配布していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	4	3	2	1	要	不要	避難訓練は定期的に行っているが頻度を上げていく必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4	3	2	1	要	不要	虐待についての知識は事業所内のミーティング等で話し合い伝達している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	3	2	1	要	不要	原則、身体拘束は行っていないが、生命の危険に関わる際は行う可能性があることを契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	3	2	1	要	不要	強いアレルギーの児がいないため、医師の指示の確認等は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	4	3	2	1	要	不要	随時、ヒヤリハットを作成し、事故へと繋がらないように情報共有している。

## 改善内容・検討内容・達成度・期日等

①

【検討内容】支援計画更新の際以外にもご要望があれば面談を行い、保護者のニーズ、本人の家庭や学校での様子、事業所でのようすの情報共有を行い、統一した支援を提供できるように心掛けるとともに保護者の不安や負担感の軽減に努めていく。また、必要時には事業所から面談の提案を行っていく。

【達成度】現在、面談を随時進めている。未達成。

【期日】即日から行っていく。

②

【検討内容】課題の強化を行うにあたり、アセスメントの強化・確立を行っていく。現在も課題は行っているがより密なアセスメントを行い、課題を強化していく必要がある。

【達成度】進行形だが未達成。

【期日】平成31年5月31日までに作成し、随時検討し強化していく。

③

【検討内容】保護者会等の開催。支援の際に行うのか、別の日で行うのか、一斉に案内を出すのかグループ分けにて少数にするのか等を検討中。

【達成度】実施していない為、未達成。

【期日】来年度の秋までに開催予定。